

北区の景況

令和5年1月～令和5年3月期




調査対象 製造業 95社 小売業 59社
サービス業 25社 建設業 32社




調査方法 面接聴取法
調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会
分析作成 (株) 総合企画




本概要版は、令和5年3月上旬に調べた区内中小企業の景気動向と、これから先の3ヶ月間（令和5年4月～6月期）の予想をまとめたものです。




好調 ← 普通 → 不調

	A	B	C	D	E	F	G
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

製造業	前期		業況 DI (Δ15.3) は前期比 2.9 ポイント増と、厳しさがやや和らいだ。全都 (Δ14.2) との比較では、本区がわずかに下回っているもののほぼ同水準となっている。売上額は減少傾向がかなり弱まり、受注残は減少幅がやや縮小、収益は減益幅が若干縮小した。販売価格は上昇傾向が幾分弱まり、原材料価格は前期並の上昇が続いた。資金繰りは窮屈感がわずかに和らぎ、借入難易度は容易さがやや増した。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 0.9 ポイント減少した。
	今期		
	来期		

小売業	前期		業況 DI (Δ18.3) は前期比 10.0 ポイント増と厳しさがかなり和らいだ。全都 (Δ26.4) との比較では、本区が 8.1 ポイント上回っている。売上額は減少傾向が大幅に強まり、収益は減益幅がやや拡大した。販売価格は上昇傾向が大幅に強まり、仕入価格は上昇幅がやや縮小した。資金繰りは窮屈感がかなり強まったが、借入難易度は厳しさが大きく緩和した。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 5.6 ポイント増加した。
	今期		
	来期		

サービス業	前期		業況 DI (Δ13.9) は前期比 19.0 ポイント増と厳しさが大幅に和らいだ。全都 (Δ17.4) との比較では、本区が 3.5 ポイント上回っている。売上額は極端に増加に転じ、収益は減益傾向がわずかに弱まった。料金価格、材料価格はともに上昇傾向が大幅に強まった。資金繰りは窮屈感が幾分強まり、借入難易度は前期並の厳しさが続いた。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 4.5 ポイント増加した。
	今期		
	来期		

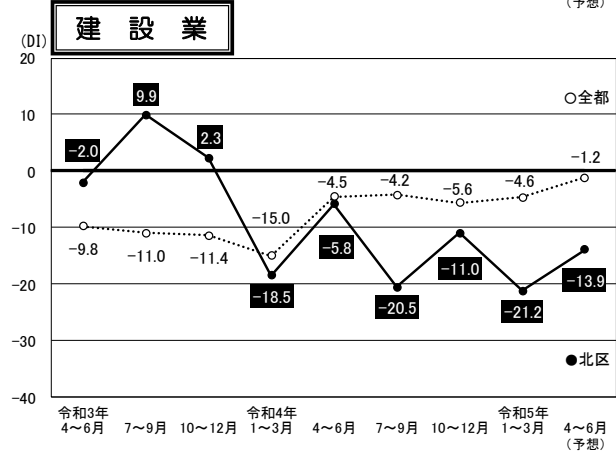
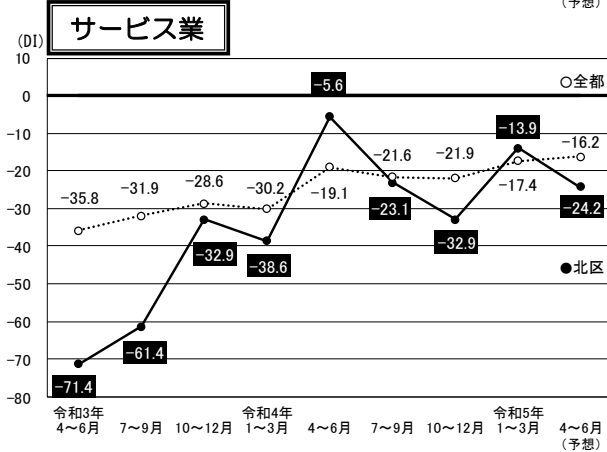
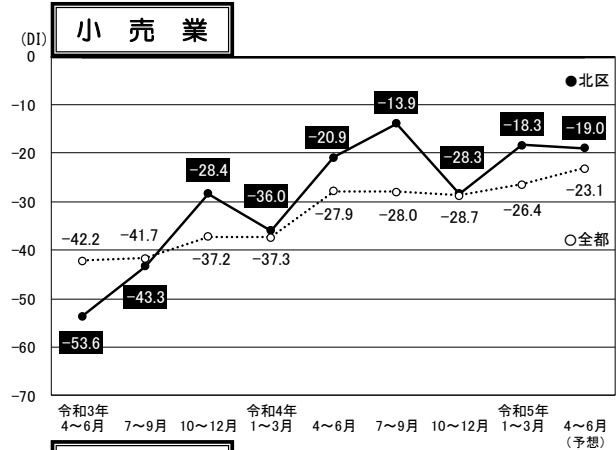
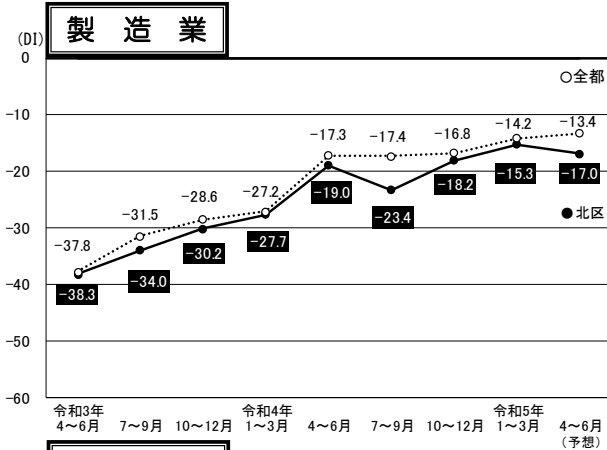
建設業	前期		業況 DI (Δ21.2) は前期比 10.2 ポイント減と悪化傾向がかなり強まった。全都 (Δ4.6) との比較では、本区が大きく 16.6 ポイント下回っている。売上額は前期並で推移し、収益は減益幅が大きく縮小した。受注残は前期同様の減少が続き、施工高は増加傾向が若干強まった。請負価格は上昇がやや強まり、材料価格は上昇傾向が大幅に強まった。資金繰りは大幅に苦しい状況に転じ、借入難易度は容易さがかなり増した。設備投資を「実施した・予定あり」とした企業は前期から 3.1 ポイント減少した。
	今期		
	来期		

※DI (Diffusion Index) とは

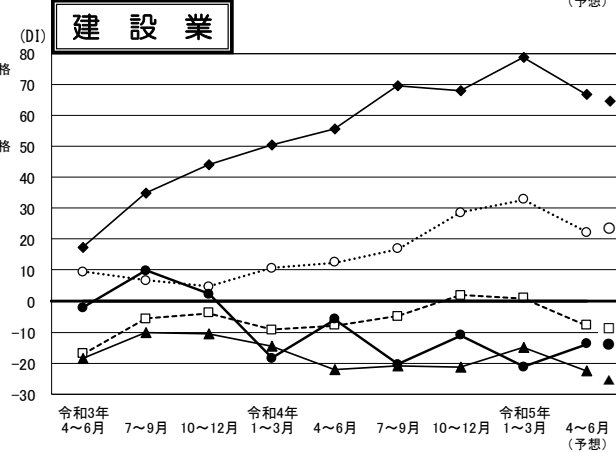
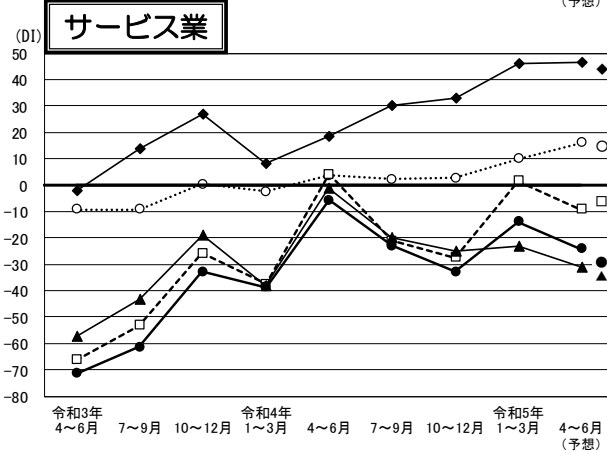
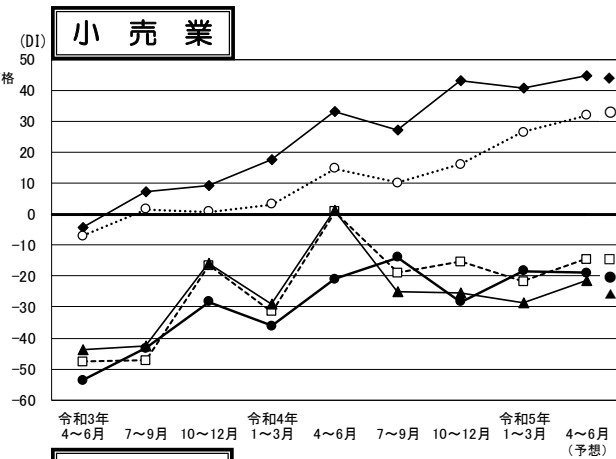
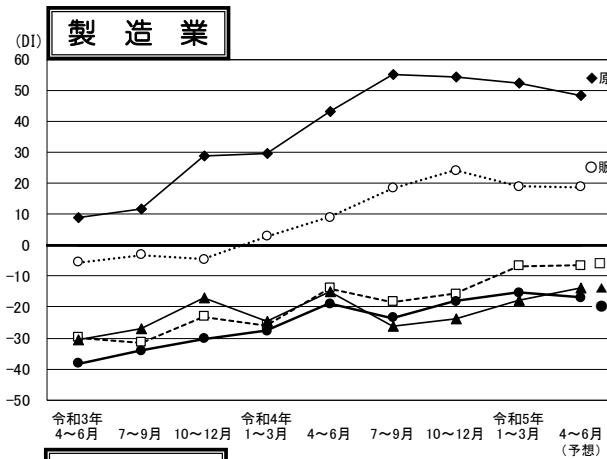
DI (ディーアイ) は、増加 (又は「上昇」「楽」など) したと答えた企業割合から、減少 (又は「下降」「苦しい」など) したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

例: 「良い」 28.7%、「どちらでもない」 49.4%、「悪い」 21.9% の場合 → 28.7 - 21.9 = 6.8 (=DI)

北区と全都の業況の動き（実績）と来期の予測



業況と売上額、収益等の動き（実績）と来期の予測



北区 業種別 経営上の問題点

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	原材料高	55.8%	売上の停滞・減少	44.1%	同業者間の競争の激化	48.0%	材料価格の上昇	75.0%
	売上の停滞・減少	37.9%	仕入先からの値上げ要請 利幅の縮小	25.4%	材料価格の上昇	24.0%	利幅の縮小	28.1%
	利幅の縮小	29.5%			店舗・設備の狭小・老朽化	16.0%	人手不足	25.0%
	同業者間の競争の激化	16.8%	同業者間の競争の激化	20.3%	売上の停滞・減少		12.0%	人件費の増加
	大手企業との競争の激化	12.6%	商店街の集客力の低下	18.6%	商圏人口の減少 人手不足 人件費の増加	12.0%		同業者間の競争の激化

北区 業種別 重点経営施策

	製造業		小売業		サービス業		建設業	
上位項目	販路を広げる	60.0%	経費を節減する	49.2%	宣伝・広告を強化する	48.0%	経費を節減する	59.4%
	経費を節減する	50.5%	品揃えを改善する	33.9%	経費を節減する	40.0%	情報力を強化する	40.6%
	新製品・技術を開発する	14.7%	宣伝・広告を強化する	18.6%	販路を広げる	32.0%	人材を確保する 販路を広げる	28.1%
	情報力を強化する	13.7%	売れ筋商品を取り扱う	16.9%	店舗・設備を改装する	20.0%		
	人材を確保する	8.4%	商店街事業を活性化させる	15.3%	技術力を強化する	8.0%	技術力を高める	15.6%

東京都の景況

<製造業>

業況は半導体不足が徐々に改善されつつあることなどを受け、水面下ながらわずかに改善した。売上額・受注残・収益においても幾分上向いた。業種別に見ると、化学工業・プレス・メッキが大きく改善している。価格面では原材料価格は前期並の厳しい状況が続いているが、販売価格も上昇傾向が続いている。資金繰りは前期同様の苦しさが続き、在庫は適正水準が保たれている。

<小売業>

業況はわずかに上向いた。売上額についてもやや持ち直しが見られたが、収益は前期同様変動なく推移した。業種別で見ると、木材・建築材料、カメラ・時計・眼鏡が大きく改善した。価格面では仕入価格の上昇に伴い販売価格も一段と上昇を強め、一部で価格転嫁が進んでいる様子が窺える。資金繰りは前期並の苦しさが続き、在庫は適正水準が続いている。

<サービス業>

業況はわずかに改善した。売上は大幅に上向き、収益も減少幅を縮小させた。業種別に見ると、娯楽の悪化幅が大きく拡大した。価格面では材料価格の上昇が続くものの、料金価格も上昇しており、徐々に価格転嫁が進みつつある様子が窺える。資金繰りは前期並の苦しさで、人手はやや不足感を強めた。

<建設業>

原材料費や人件費高騰の影響から、プラスへの転化を目前に業況は足踏み状態が続いている。売上額・受注残・施工高・収益についても前期同様の水準で推移した。価格面では材料価格は前期並の高騰が続いているものの、請負価格に変化は見られなかった。資金繰りは前期並の苦しさが続き、在庫も前期同様の不足感が続いている。人手も依然として不足感が続いている。

特別調査「中小企業におけるデジタル化への対応について」

問1 インボイス発行事業者への登録申請への対応について (%)

全業種	課税事業者			免税事業者				
	既に登録申請を行った	まだ登録申請をしていない	「インボイス制度」自体がわからない	既に登録申請を行った	近いうちに登録申請を行う予定	登録申請は行わない予定・免税事業者のまま	まだ対応方針は決めていない	「インボイス制度」自体がわからない
全業種	41.5	42.7	10.7	1.7	2.1	1.3	5.1	2.6
製造業	54.3	37.2	7.4	3.2	2.1	1.1	2.1	2.1
小売業	20.7	53.4	13.8	-	3.4	1.7	10.3	3.4
サービス業	28.0	40.0	20.0	-	-	4.0	8.0	8.0
建設業	51.6	41.9	6.5	-	-	-	3.2	-

問2 電子帳簿保存法改正の認知度と対応について (%)

全業種	認知度				対応				
	内容までよく知っている	意味はある程度わかる	名前しか知らない	聞いたことがない	対応できている	一部対応できている	対応できていない	電子データの授受がなく当社には関係ない	よくわからない
全業種	8.9	55.7	27.8	7.6	13.9	26.6	24.1	9.7	23.6
製造業	11.6	57.9	26.3	4.2	20.0	30.5	27.4	3.2	18.9
小売業	3.4	55.9	28.8	11.9	6.8	22.0	16.9	18.6	33.9
サービス業	8.0	48.0	24.0	20.0	8.0	20.0	16.0	28.0	24.0
建設業	9.4	65.6	21.9	3.1	18.8	31.3	28.1	6.3	12.5

問3 手形・でんさいの利用状況について (%)

全業種	手形					でんさい				
	取引の50%以上	取引の30%以上～50%未満	取引の10%以上～30%未満	取引の10%未満	全く使っていない	取引の50%以上	取引の30%以上～50%未満	取引の10%以上～30%未満	取引の10%未満	全く使っていない
全業種	4.2	10.5	11.0	13.1	61.2	2.5	2.5	5.9	5.9	82.7
製造業	9.5	20.0	15.8	16.8	37.9	4.2	4.2	12.6	7.4	70.5
小売業	-	1.7	1.7	8.5	88.1	1.7	-	-	3.4	94.9
サービス業	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	100.0
建設業	-	15.6	21.9	18.8	43.8	-	6.3	3.1	9.4	81.3

問4 デジタル化投資の満足度及び今後の計画について (%)

全業種	デジタル化投資の満足度					今後のデジタル化投資の計画			
	大いに満足している	やや満足している	あまり満足していない	まったく満足していない	もともとデジタル化投資を実施していない	拡充する予定	現状維持の予定	縮小する予定	デジタル化投資は行わない
全業種	1.3	24.5	24.5	3.8	45.6	13.5	43.0	0.4	42.6
製造業	1.1	28.4	28.4	8.4	32.6	17.9	49.5	-	31.6
小売業	1.7	16.9	15.3	1.7	64.4	5.1	28.8	-	66.1
サービス業	-	16.0	24.0	-	60.0	12.0	28.0	-	60.0
建設業	3.1	43.8	25.0	-	28.1	12.5	68.8	-	18.8

問5 デジタル化を進める上での問題点・課題について (最大3項目まで) (%)

全業種	費用対効果の把握が困難	技術革新が速すぎて対応しきれない	セキュリティの確保への不安	トラブル発生時の対応が困難	導入・維持にかかるコスト負担が大きい	情報分野に長けた社員の不足	活用方法に関する知識の不足	経営者・社員が必要と感じていない	その他	特に問題点・課題はない
	全業種	24.1	11.0	30.8	21.1	30.0	19.8	17.7	13.9	0.4
製造業	30.5	14.7	32.6	17.9	37.9	21.1	20.0	12.6	-	7.4
小売業	22.0	11.9	16.9	20.3	25.4	23.7	13.6	18.6	-	18.6
サービス業	32.0	-	32.0	24.0	16.0	16.0	8.0	20.0	-	12.0
建設業	12.5	9.4	40.6	25.0	28.1	12.5	12.5	9.4	3.1	15.6

本調査についてのお問い合わせは、下記までご連絡ください。

東京都北区地域振興部産業振興課

TEL:03(5390)1234 FAX:03(5390)1141

刊行物登録番号

5-2-009